

第148回学校体育研究同志会全国研究大会 (東日本大震災復興祈念みやぎ大会)

子どもの生活を豊かに変える 体育・健康教育実践の創造 ～子どもにとって「意味のある」授業とは～

わたしたち学校体育研究同志会は、1955年、体育の研究サークルとして出発しました。「①体育ぎらいの子をなくし、みんなで喜んで参加する体育の授業を」「②真理を追求し、仲間を大切に、ともに学び合う子どもたちを」「③平和で豊かな社会を創っていく子どもたちを」をスローガンとして掲げて、父母、地域と手をつないで、体育・健康教育実践の創造に向けて歩んできました。

「子どもの生活を豊かに変える体育・健康教育実践の創造」をテーマに、全国から実践を持ちより、みんなで話し合っ、体育・健康教育実践を創っていきましょう。

東日本大震災から立ちあがろうとしている宮城・松島での開催です。ぜひ、仲間を誘ってお越しください。

期日：2014年8月2日(土)～4日(月)

全体会 ホテル松島大観荘 (宮城郡松島町犬田10-76 TEL022-354-2161)
分科会 松島町立小・中学校 東松島市立小・中学校 ホテル大観荘ほか
文化交流の夕べ ホテル松島大観荘

〔大会日程〕

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
8月2日 (土)	(全国総会)			12:00～ 13:00 受付	13:00～16:20 閉会行事			16:30～ 18:00 分科会①	18:00～ 19:15 夕食・入浴	19:15～ 20:45 特別講座	20:45～ 交流会			
8月3日 (日)	9:00～12:00 分科会②			12:00～ 13:00 昼食	13:00～16:00 分科会③			16:00～18:30 移動・入浴		18:30～21:00 文化交流の夕べ		21:00～ 交流会		
8月4日 (月)	9:00～11:30 分科会④			11:45～ 12:30 閉会行事										

◆◆◆ 大会・オプション企画についての問い合わせ先 ◆◆◆
東日本大震災復興祈念みやぎ大会事務局
連絡先 TEL 080-3322-4852 e-mail fukkoumiyagi@i.softbank.jp

◆◆◆ 申し込み手続きについての問い合わせ先 ◆◆◆
(株) JTBビジネスネットワーク JTB東北デスク
「第148回学校体育研究同志会全国研究大会」係宛
フリーダイヤル TEL 0120-989-960 Fax 0120-937-224
e-mail tohoku-ec@jbn.jtb.jp
営業時間 土日祝(年末年始)除く平日 9:30～17:30
住 所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14ダイハツ・ニッセイ池袋ビル7F

受付 ホテル大観荘
※ 8/3(日)は各分科会会場
(松島町立小・中学校、ホテル
大観荘)で受付ができます。

主催 学校体育研究同志会 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-2-34 新宿マンション502
http://taiiku-doshikai.org/
主管 東日本大震災復興祈念みやぎ大会実行委員会
共催 東松島市教育委員会
後援 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 松島町 松島町教育委員会
朝日新聞社仙台総局 毎日新聞社仙台支局 読売新聞社東北総局 産経新聞社東北総局
河北新報社 三陸河北新報社 石巻日日新聞社

8月2日(土)

開会行事

13:00~16:20 ホテル松島大観荘 藤の間

【開会セレモニー】

被災当時6年生だった高校生たちによる「みかぐら」で皆さんをお迎えます。地域復興の主人公としての自覚と力を育てる実践の中で、踊ること、表現し合うことを通じて生きる力を掴んでいった高校生たちの美しい舞いをお楽しみください。

【基調報告】

研究の方向を示すみやぎ大会の基調提案の内容をわかりやすく、象徴的に表現した劇を通して報告します。「難しいことをより易しく、易しいことをより面白く」をコンセプトに、初参加者や学生でも十分納得できるような内容で報告を行います。

【記念講演】今、子どもたちの思いを紡ぐこと—生活綴り方の奔流を求めて—

工藤ふみ氏(青森作文の会・元青森市立造道小学校)

東北には、「生活綴り方」を中心とした「北方性教育」の伝統が今も息づいています。その伝統を引き継ぐ工藤先生は「なぜ、生活綴り方なのか」という問いにこう答えます。

「私が綴り方を手放さなかったのは…綴り方を読み合うことで、学級が、私にとっても、子どもにとっても、保護者にとっても居心地のよい場所になるからです。」

そして、工藤氏が師事した故・津田八洲男氏の言葉を噛みしめながらこう続けます。

「…よい作文を書かせることではなく、『いい生活』をさせることが大事なのです」

「生活綴り方」の奔流を求め続けてきた工藤氏の35年間の実践をもとに、「北方性教育」の真髄に迫る記念講演です。まさしく「これぞ東北の実践」です。

「なにこれ。」
アルバムが落ちていた。
パラパラッ。
保育園のころの自分がのっていた。
「なつかしいなあ。」
保育園の頃の友達がいた。
親から子どもへのところを見てみると、
「えっ。」
「うまれてきてくれてありがとう。父より」
お父さんが小さい字でかいていた。



うれしくて泣いてしまった。
「ふっ。」
あんなに怒っていた父さん。
なんでもしてくれた父さん。
こんなことを書いてくれていたなんて、笑ってしまった。
父さんと母さんは別れてしまった。
今は一緒にくらしていない。
父さんを思い出すと、ぼくは泣いてしまう。

【特別報告】地元・福島の実状と子どもたちの育ち

小林みゆきさん(福島県高教組執行委員)・史依さん(大学生)

原発の物的被害とともに、見えない内面の被害が大きくクローズアップされています。放射能や仮設住宅の問題が、残る者とそうでない者の間に大きな格差と意思の分断を生んでいます。震災後の生活と心身の揺れ動きの現状について報告していただきます。

特別講座

19:15~20:45

ホテル松島大観荘



支部や分科会の交流を深めるだけでなく、初日の夜もしっかり学び合う大会を目指して、3つの講座を用意しました。参加者全員で学び合いましょう。

①「命」を輝かせる「学び」とは 講師：中森孜郎氏(宮城教育大学名誉教授・みやぎ教育文化研究センター)

高田敏幸氏(元わらしこ保育園園長)

コーディネーター：久保健氏(日本体育大学)

中森・高田両氏による対談です。「命」を輝かせる「学び」の実像をお二人の実践をもとに語っていただきます。

②東京オリンピックは被災地のためになるのか？ 講師：谷口源太郎氏(スポーツジャーナリスト)

「被災地の復興」を旗印にして、招致に成功した東京オリンピック。果たしてそれは実現可能なのでしょうか。東京オリンピック招致の過程についてご解説いただき、みんなで検討しましょう。

③どうする部活動問題 講師：星野実氏(東京・和光中学)・神谷拓氏(宮城教育大学)

体罰に端を発した部活動問題。そのあり方を現場の実践に即して、展望を語り合います。

8月3日(日)

文化交流の夕べ

18:30~21:00 ホテル松島大観荘 千代の間

分科会の研究と同じくらい、大会のなかで重要な位置を占める文化交流の夕べ。もちろん大会実行委員会は、全力を注いで取り組みます。この生きづらい世の中で、私たちは何をこそ大切に、何に向かって実践していけばいいのか、肌で感じられる交流会にしたいと考えています。

☆東日本大震災当時から今大会にたどり着くまでの3年間の道程を歌と映像と言葉で振り返ります。

☆もちろん、今大会の成果と課題について、各分科会からいろいろな趣向で発表していただきます。

☆そして最後は、私たちのつながりを確認し、さらに深めるエンディングです。全国大会に何度も参加しているみなさんはもちろん、初参加の方も、「同志会って素晴らしい、この仲間って最高!!」と実感していただける交流会にしますので、是非ご参加ください。

8月4日(月)

閉会行事

11:45~12:30 ホテル松島大観荘 藤の間

【大会のまとめ】

子どもたちの「生活」にこだわり、「意味のある体育・健康教育実践」を追求した今大会の成果をまとめ、来年の60周年記念・大阪大会への課題を整理します。

【大阪大会への引き継ぎ式】

来年の大阪大会は体育同志会60周年の記念大会です。ながくて・あわじ・みやぎとつないできたバトンを大阪へ熱い思いとともに引き継ぎます。



【縄文やまざくら子ども学校】

縄文時代から子孫をつないできた「やまざくら」を種から育て、2011本を植え継いで行くプロジェクトが始まった里浜。その高台にある民宿が活動の拠点です。火おこしに始まり、宮戸の自然を満喫できるカヌーや流しそうめん、野外バウムクーヘン作り等を行います。もちろん火種は火おこし器で作ります。また、被災した方の体験談を聞く会も設けます。みんなで里浜に笑顔の花を咲かせましょう。遊びの中に学びがあり、そこに人々とのつながりが生まれます。「つながり」をテーマに、子どもたちに存分に楽しんでもらいます。

	午前	午後	夜
8月2日(土)		火おこし体験、里浜貝塚探検	夜間ハイキング
8月3日(日)	カヌー	流しそうめん	語り部のお話を聞く会
8月4日(月)	野外バウムクーヘン		

- 活動場所・宿泊：桜荘 東松島市宮戸字里25 Tel.0225-88-3206
- 対象：小学校1年~中学校3年
- 定員：20名
- 費用：20,000円(宿泊・食事・交通費・活動費・保険料などを含む)
- * Webでの申込フォームにて必要事項を記入の上、申し込んで下さい。



【マンボウ保育園】

「海ののんき者」と言われるマンボウ。楽しくのんびりと過ごします。松島海岸のお散歩、プールや公園でのいろいろな遊びを計画しています。

- 場所：ホテル松島大観荘
- 対象：3歳児(年少)から
- 費用：【2日・4日】3,000円、【3日】5,000円(おやつ・保険料・昼食などを含む)
- * Webでの申込フォームにて必要事項を記入の上、申し込んで下さい。



2日(土) ~ 4日(月)

分科会

松島町立小・中学校 ホテル松島大観荘他

大会は分科会の活動を中心に展開していきます。分科会では「子どもの生活課題・発達課題をどのように捉え、授業はそこにどうい込んだのか」「何（教科内容）をどのように学ばせたのか、その結果子どもたちはどのように変わったのか」などについて討議します。

番号	分科会名	分科会内容紹介	教材・学年(実践報告)	実技
1	障害児体育	特別支援教育制度が始まって8年目を迎えます。現場では子どもの発達を保障するような豊かな運動文化を伝える実践が行われているのでしょうか？ 特別支援教育の授業で一番悩むのは、教材づくりです。今年はいくつかの「ボール運動」教材等を通じて検討します。	ボール運動 (支援学級)	有 屋 内
2	幼年体育	幼年期に身につけるべき力を意識した、発達段階に応じた運動あそびの系統的な指導のあり方を検討します。それは、単に〇〇ができるということではなく、子どもたちがワクワクするような楽しい運動遊びを展開していく観点から検討します。また、その際の子どもの「わかる(認識)」にも着目します。それらのことを、実技を通して楽しみながら交流し研究していきます。	キャスターボード (4歳児)	有 屋 内
3	小学校 低学年体育	ボール運動、マット運動の実践提案をもとに、小学校低学年の発達・認識を意識しながら「学ばせたいこと、つけたい力」を検討します。実技を通して、低学年の子どもの反応を想像しながら、すべての子どもが意欲的に参加し、学習できる授業づくりを目指します。	シュートボール (小2) お話しマット (小1)	有 屋 内
4	小学校 中学年体育	「マット運動」の小3と小4の実践報告をもとに、中学年体育で「学ばせたい中身・育てたい力」を考えていきます。子どもの生活課題と発達・認識との関係を視野に入れた議論をします。	マット運動 (小3・4)	有 屋 内
5	小学校 高学年体育	高学年の子どもたちの生活実態・発達課題を交流します。2つの実践を通して高学年にふさわしい主体的な学びを目指す授業づくりを考えます。	マット運動・跳び箱 (小5) 持久走 (小6)	無
6	中学校体育	どの子もうまくなり楽しめる授業にするために何を学ばせるか、義務教育修了時に身につけさせる共通教養を展望し、生徒の実態に合わせた指導を検討します。 ソフトボールの実践提案を行います。実技は、マット運動を行います。	ソフトボール (中2)	有 屋 内
7	高校体育	青年(高校・大学)の実態を報告しあい、教科や教科外活動での発達課題や学習課題について検討します。教科ではAクイックから3人のコンビネーション攻撃を柱にしたバレーボールの授業づくりを検討します。実技も行います。	バレーボール	有 屋 内
8B	「戦略・戦術」 バスケットボール	バスケットボールを歴史的な歩みも含めつつ「運動文化」としてトータルに深めます。ゲームの中で生きる二人のコンビネーション(ディフェンスを意識した)を中心に実技と実践提案を通して学んでいきます。	バスケットボール (小学校高学年)	有 屋 内
8F	「戦略・戦術」 フラグフットボール	フラグフットボールを教材に、戦術を学び、みんなが活躍できるボール運動の授業づくりを行います。実技では、2人対2人のゲームで基礎となる戦術的課題や技術を学び、さらに実技提案をもとにして3人以上のゲームへとつなげていく授業過程を検証していきます。	フラグフットボール (小学校高学年・中学校)	有 屋 内
8S	「戦略・戦術」 サッカー	「サッカーはうまくなるだけでいいのか？」サッカーの歴史は、競争だけではなく、協同や祈りなど様々な教科内容を秘めています。 「フットボールって知ってるか？」から始まった4年生の実践を検討します。	サッカー 「お祭りフットボール」 (小4)	有 屋 外

番号	分科会名	分科会内容紹介	教材・学年(実践報告)	実技
9	器械運動 「表現」	器械運動分科会では、以下の5つのことについて研究します。①器械運動の研究がどのように行われてきたのか振り返ります。②「ねこちゃん体操」の実技を通し器械運動の動きの基礎を学びます。③4年生のグループマット(歌声マット)の報告(2本)を受け、実技を行いながらその実践の価値に迫ります。④参加者の器械運動を指導する上での悩みや「こんな技ができるようになりたい」という願いに答えます。⑤器械運動を<体育とは何か>という観点から捉え直し、新たな研究の視点を探ります。参加された方と共に学び・体を動かし、研究を深める3日間にしたいと願っています。	グループ(歌声)マット (小4)	有 屋内
10D	ダンス 「舞踊表現」	「からだのしくみと動きの成り立ち」を学び、子どもたちの内発的な動きを引き出し表現につなげる指導方法を研究しています。日常生活の中で身体感覚を高めるチャンスが多い小学校での具体的なワークと、中学校での男女共修のダンス授業の実践提案をします。ダンスの苦手な方も新しい世界が広がるはずです!	ダンス (中学校・男女共修)	有 屋内
10M	民舞 「舞踊表現」	自然なからだづかいで形づくられている民俗舞踊は、子どもたちのからだを耕し、心を開く豊かさをもっています。日本各地に伝わる民俗舞踊に共通する「理にかなった動き」を探るワークと、背景にある文化性や民俗の願いを教材化した実践の検討を通して「民舞で育てたい力」について考えます。 ※ 当日は足袋を持参してください。	沖縄「エイサー」	有 屋内
11	陸上 「記録・競争」	基調提案では、「生活」という視野を加えて、これまでの分科会研究を振り返り実践課題を探ります。実践提案および実技では「あてっこペース走」を基本として、そこから「ペース持久走」への展開を、リボン等の教具も用いて考えていきます。	ペース持久走 (小6) リボン走	有 屋外
12	水泳 「水辺文化」	基礎泳法として「ドル平泳法」を位置づけ、実践研究を積み重ねています。ドル平泳法の指導過程の見直しや確認を行い、ドル平実践の可能性を広げていく論議をしていきます。また、各学校でドル平実践を行うために必要な水泳の教育課程についても話し合います。 ※ 当日は水着を持参してください。	ドル平から 近代泳法へ (小5・6)	有 屋外
13	健康教育の 授業づくり	からだや健康問題の学習を進める上で、子どもたちの生活を見つめ、背後の社会問題、現実の課題に向き合うことが欠かせません。子どもたちとともに創っていく授業づくりの方法を学び合います。子ども、父母、地域の方、教職員との協同の授業づくりをどう進めるかを話し合います。	原発、エネルギー (小4) アスベスト (小学校高学年から)	無
14	体育理論の 授業づくり	指導要領にも時間配当が明確にされた体育理論。フェアプレーを教材とした実践提案(小学校)をもとに、「教室でする体育(体育理論)」の目的、内容、方法について検討します。サッカーワールドカップやオリンピックの授業プランも検討します。	フェアプレー (小学校)	無
15	子ども・ス ポーツ・社会 と学校づくり	子どもが主人公の学校づくり、学校卒業後の主体者としての自立を見通し、文化創造の主体者形成という観点から、全国の実践を分析、討議します。子どもの人権を保障する立場からの部活動の位置づけとあり方に焦点を当てながら、小・中の実践と埼玉の和太鼓集団「響」を取り上げます。	小・中・高の部活動 の実践研究(6本) 和太鼓集団「響」の 活動報告(1本)	無
16	グループ学習	実践提案をもとに、子どもたちが抱えている困難を読み解きながら、子どもたちとともに創り出していくグループ学習のあり方を、参加者全員で考えます。 学習集団の質的発展のすじ道を探ります。	フラッグフットボール (小3) 水泳・フラッグ フットボール (小5)	無

※ 運動着、運動靴、タオル等は各自ご持参ください。なお、各分科会の会場につきましては、大会事務局が発行します『速報 蝦夷(えみい)』でお知らせ致します。



同志会60周年記念特設講座

2015年に創立60周年を迎える同志会の記念プレ企画です。3日間を通じて新しい世界が切り拓かれること必至の講座です。

	講座名	講座内容紹介	実技
A	「荒馬」講座 講師：高田敏幸氏 (元わらしこ保育園園長)	幼児教育に長年携わってきた高田敏幸氏(通称「ダンプ園長」)による渾身の「荒馬」講座です。「生きるとは何か」を問いながら、独自の教材解釈を築き上げてきました。子どもの命が輝く「荒馬」、さらに実践者自身が生きる力を感じ取れる講座です。 ※荒馬の道具を購入していただく予定です。	有 運動着 上履き タオル
B	「器械運動」講座 講師：山内基広氏 (愛知学泉大学)	「ねこちゃん体操」を考案した山内基広氏によるマット・跳び箱・鉄棒を総合的に学ぶ講座です。器械運動の指導でお悩みの方、これから指導してみようという方、そして自分自身が技術を身につけたいという方、ぜひご参加ください。	有 運動着 上履き タオル

現地オプション企画

現地ならではの企画を用意しました。私たち同志会の大切な仲間と震災の犠牲者の方を慰霊する企画です。人数制限がございますので、早めにお申し込みください。

	企画名	企画内容紹介	参加費
A	8月2日(土) 8:30~12:30 石巻と女川を巡る 被災地探訪	石巻と女川の被災跡地を巡ります。石巻では火災で炎上した門脇小学校を、女川では高さ20mにも達した被害の全貌を高台より望みます。後世の引き継ぐべき教訓を現地・菊地英行氏に語っていただきます。なかなか現地に足を運べなかった方はぜひご参加を。 先着25名限定。	3,000円
B	8月3日(日) 5:00~8:00 松島湾を巡る 洋上慰霊+釣り体験	06年松島大会でこの講座の講師を務めた故・猪又聡先生(同志会宮城支部)を洋上で慰霊しながら、故人の愛した釣りを体験します。地域住民の命を最後まで守ろうとして亡くなった猪又先生。松島の素晴らしい風景の中で故人の在りし日を偲びながら釣りを楽しみましょう。 先着20名限定。	3,500円

東北の夏祭りマップ

※ 詳細はネットで検索してください。

今別荒馬まつり 8/4~8/7

同志会のダンプ園長の「荒馬」でおなじみ。扇ねぶたの山車とねぶたの衣装を身にまとったハネトが「荒馬」を囲み、「ラッセラー」の掛け声とともに、太鼓や笛の囃子に合わせて町を練り歩きます!

秋田竿燈まつり 8/3~8/6

十数mの竹ざおに9本の横竹を張り、46または48個の米俵をかたどった高張提灯をつった重さ60kgほどの竿灯を手のひら、肩、腰で支えて立てます。天の川が降り注いだような光が大通りを埋め尽くします!

山形花笠まつり 8/5~8/7

華やかに彩られた山車を先頭に、花笠を手にした艶やかな衣装の踊り手が、「ヤッショマカショ」のはやしことばにのって山形の夜を焦がします!

福島わらしまつり 8/1~8/2

初日は、長さ12m重さ2tの日本一の大わらしを会場に奉納したあと、「平成わらし音頭」にあわせて華やかに踊ります。2日目は、大わらしや山車を引いてタイムを競う「わらし競走」が勇壮に行われたあと、「ダンシングソーダナイト」を情熱的にフィナーレまで踊ります!



青森県

秋田県

岩手県

山形県

宮城県

福島県



青森ねぶた祭り 8/2~8/7

国の重要無形民俗文化財。極彩色の巨大な武者人形が練り歩き、夜の街を明々と照らし出します。ハネトが「ラッセラーラッセラー」のかけ声とともに乱舞します!

盛岡さんさ踊り 8/1~8/4

太鼓を先頭には華やかな仕度の男女が輪をつくり、笛と歌に合わせ速いテンポで踊ります。激しいなかにも優雅な味わいを持つ踊りは必見です!

北上・みちのく芸能まつり 8/1~8/3

東北六大祭りの一つ。「鬼剣舞」「鹿踊」「神楽」「田植踊」「念仏踊」など郷土芸能が披露されます。民俗芸能の祭典です!

仙台七夕まつり 8/6~8/8

市内の商店街が華やかな七夕飾りで埋めつくされ、200万人以上の見物客でにぎわいます。長さ十メートル以上の巨大な竹に一本数十万~数百万円といわれる吹き流しは圧巻です!

『復興祈念みやぎ大会』の前後は東北の夏祭りが目白押し。夏の日ざしをはね返す祭り、夜のとばりを明々と照らす祭り...それらの全てに復興に向けて全力でひた走る東北人の熱き魂がありありと表れます。

【松島へのアクセス】

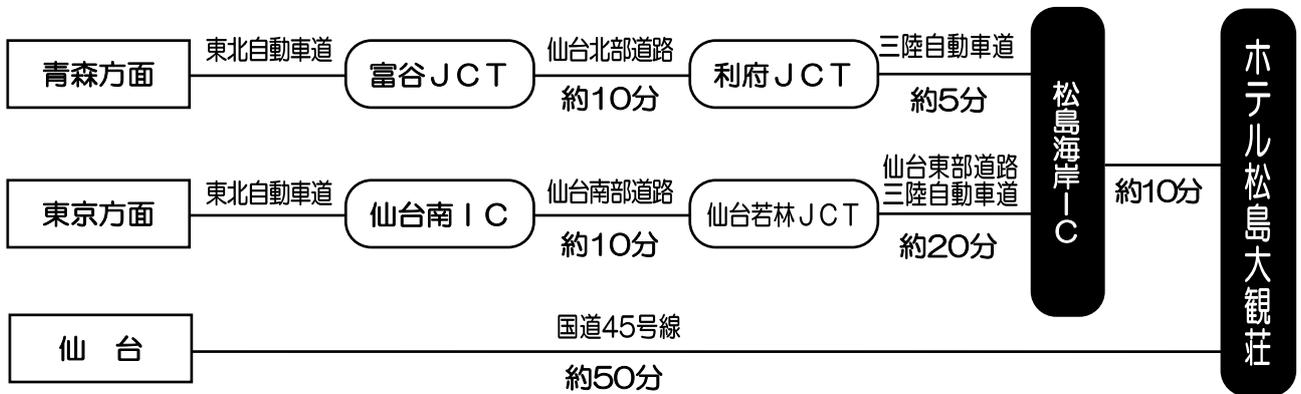


『ホテル松島大観荘』周辺マップ

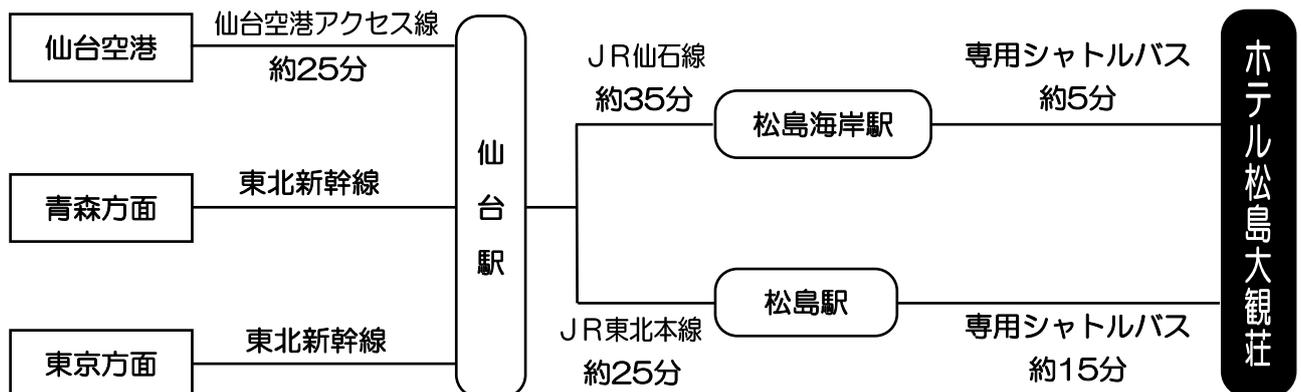


【ホテル松島大観荘へのルートご案内】

お車でお越しの方は



飛行機・電車でお越しの方は



※ ホテル松島大観荘の最寄りの駅は仙石線「松島海岸駅」です。

